大学院生対象 オンライン留学プログラム
【大学院共通 留学認定プログラム】
MOOCs受講マニュアル

1

令和7年度版
亥鼻地区　留学支援担当
2025年4月

2

もくじ

- １．令和７年度のMOOCs受講について
- ２．コースのプラットフォーム紹介
- ２．登録方法
- ３．受講方法
- ４．コース完了の確認
- ５．成果報告会への参加

3

1．令和７年度のMOOCs受講について

オンライン留学のENGINE単位認定について

- 令和7年度のオンライン留学は、修士課程および博士課程のすべての学年の大学院生が受講できる。
- **MOOCsのように、同時双方向型ではないプログラム**を履修する場合には、事後に**外国語による口頭発表が必須**となる。
- 亥鼻キャンパスにおける成果報告会の詳細は、本マニュアルの17～18頁を参照すること。
- 成果報告会の開催日程は、**2025年12月（予定）**。
- やむを得ない事情により、成果報告会で発表できない学生は、指導教員と相談のうえ、研究室等で外国語による発表をすること。

4

2．コースのプラットフォーム紹介

受講したいコースのプラットフォームを選ぶ

- 各プラットフォームのコース一覧等を参考に、受講コースを選ぶ。

① **Future Learn**：英国のOpen Universityが創設。多数の英国の大学・研究機関のほか欧米やアジアの大学も参加。コース提供数はMOOCsのなかで３番目に多い。

② **Coursera**：米国のスタンフォード大学の教授が創設。世界中の大学・企業が参加（日本からは東京大学が参加）。コース提供数はMOOCsのなかで最多。

③ **edX**：米国のマサチューセッツ工科大学（MIT）とハーバード大学が創設。世界中の大学・企業が参加（日本からは京都大学、大阪大学、東京工業大学などが参加）。コース提供数はMOOCsのなかで２番目に多い。

④ **Udacity**：ドイツ出身の科学者が創設。IT分野（コンピュータサイエンス、AI、プログラミング、クラウドコンピューティング等）に特化したコースを提供。

5

3．登録方法

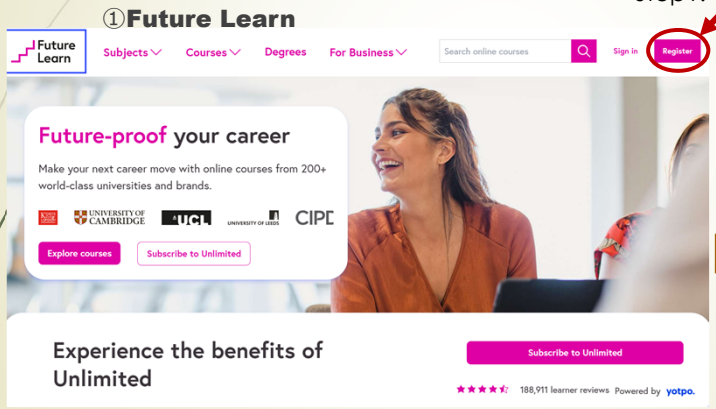
選択したプラットフォームに参加／登録（サインアップ／アカウント作成）する①

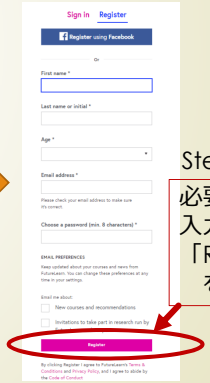
- プラットフォームのトップ画面から登録。
  氏名、メールアドレス、パスワード等必要な情報の入力。

①Future Learn

Step1:

「Register」 を選択して、
登録画面にすすむ





Step2:

必要情報を
入力後
「Register」
を選択

6

3．登録方法

選択したプラットフォームに参加／登録（サインアップ／アカウント作成）する②

- プラットフォームのトップ画面から参加。
  氏名、メールアドレス、パスワード等必要な情報の入力。

② Coursera

Step1:

「参加は無料」 を選択して
登録画面にすすむ

Step2:

必要情報を
入力後
「参加は無料」
を選択

7

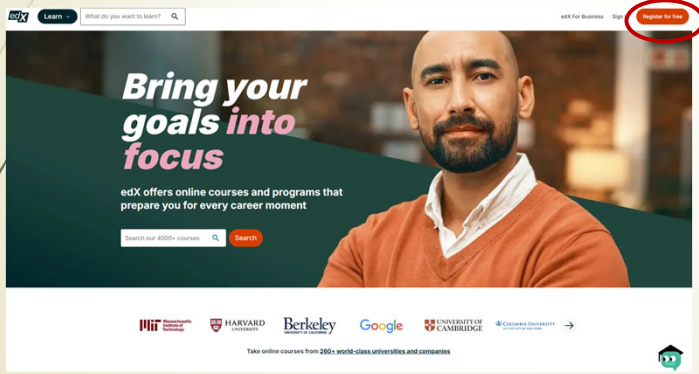
3．登録方法

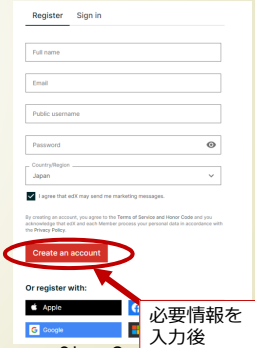
選択したプラットフォームに参加／登録（サインアップ／アカウント作成）する③

- プラットフォームのトップ画面から登録（アカウント作成）。
  氏名、メールアドレス、パスワード等必要な情報の入力。

③**edX**

Step1: 「Register for free」 を選択して登録画面にすすむ





Step2: 必要情報を入力後「**Create an account**」を選択

8

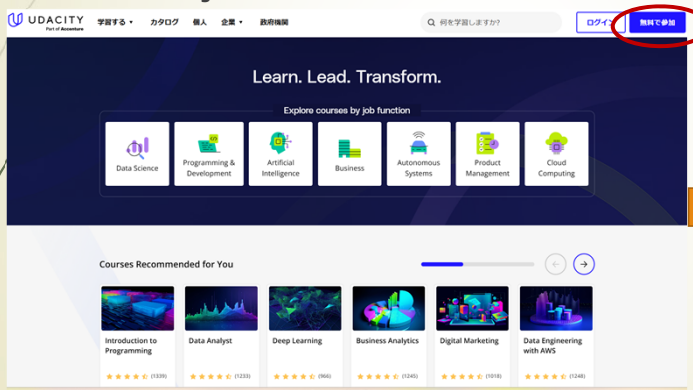
3．登録方法

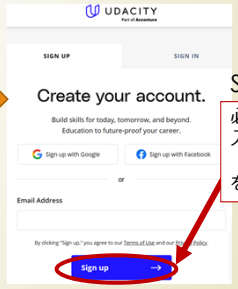
選択したプラットフォームに参加／登録（サインアップ／アカウント作成）する④

- プラットフォームのトップ画面から開始（サインアップ）。
  氏名、メールアドレス、パスワード等必要な情報の入力。

④**Udacity**

Step1: 「無料で参加」 を選択して登録画面にすすむ





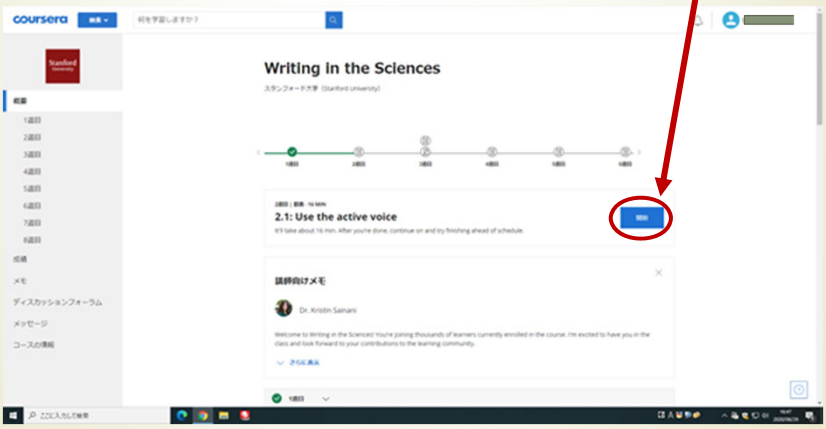
Step2: 必要情報を入力後「Sign up」を選択

9

4．受講方法①

- 受講中のコースの画面

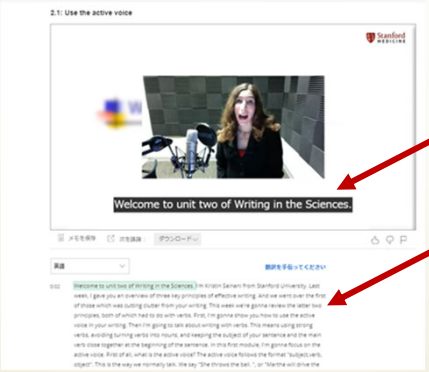
「開始」をクリックすると、
コースの動画視聴、クイズ回答、
宿題提出などのサイトに移動する
ことができる。



10

4．受講方法②

- ビデオ画面
- ✓ ビデオは、繰り返し視聴することができる。
- ✓ スクリプトが表示される。また、字幕の設定で、英語を選択すると、講師が話す内容がそのまま字幕として表示される。再生スピードの調整も可能。



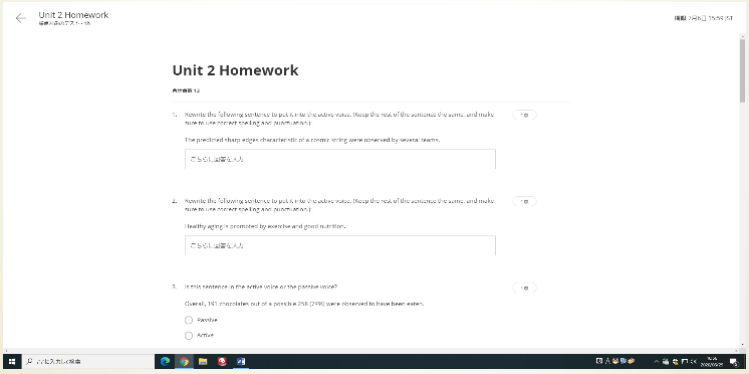
字幕

スクリプト

11

4．受講方法③

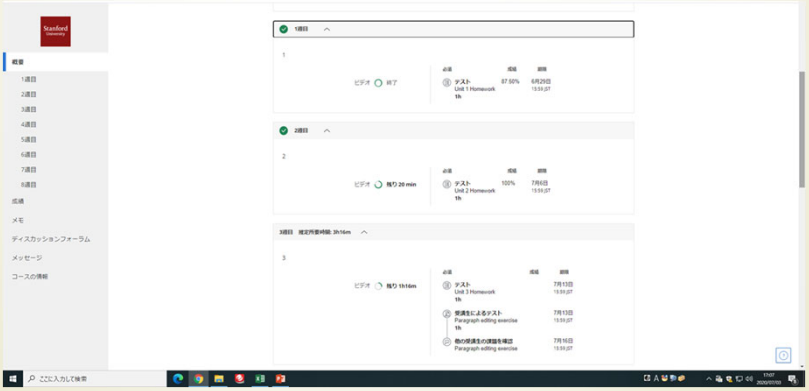
- テスト画面
- ✓ オンラインで、homework（またはQUIZ, ASSIGNMENTなど）を提出する。



12

4．受講方法④

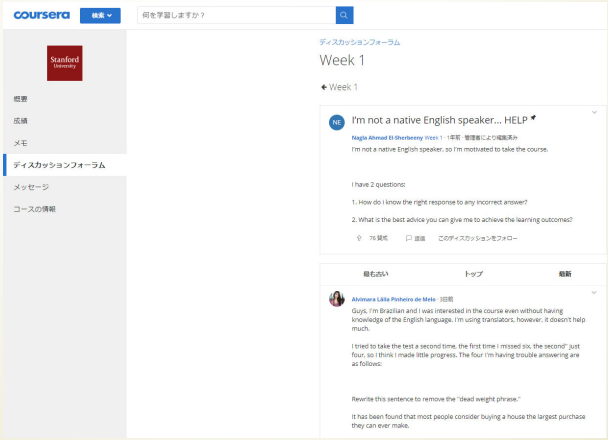
- コースの進捗確認画面
- ✓ ビデオ視聴の残り時間、課題の提出状況、テストの正答率、テストの回答期限*などを確認できる。（*Courseraの場合）



13

4．受講方法⑤

- ディスカッションフォーラム（掲示板）の画面
- ✓ ほかの学習者と、コースのテーマや内容について自由に意見交換をすることができる。



14

5．コース完了の確認①

学生は、コースを受講し完了したら、①修了証、②コースワーク完了画面、③コースワーク合格画面のいずれかを印刷したもの（または表示画面）を、指導教員に提示し、成果報告会もしくは研究室での発表について相談する。

- ①修了証を受領する（無料コースでは修了証が発行されない場合もある）

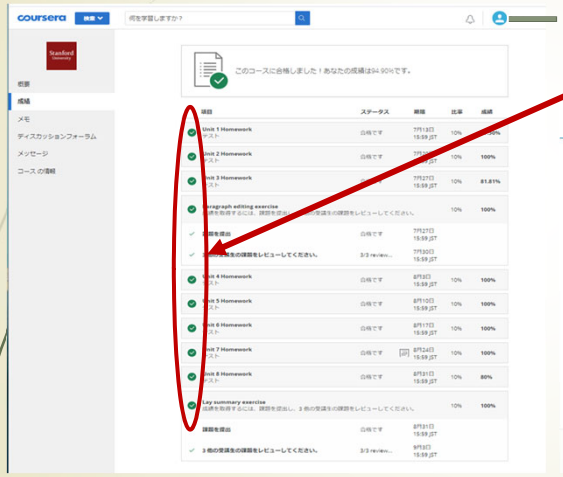
edXの修了証（有料）

15

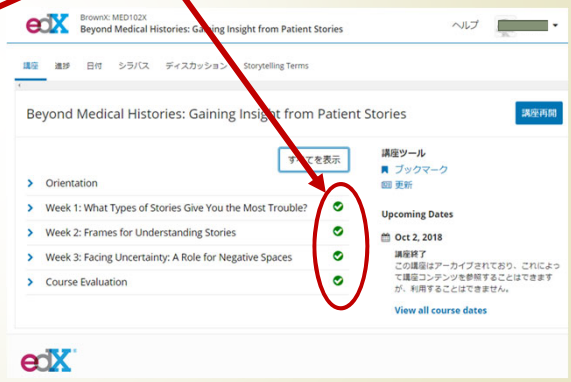
5．コース完了の確認②

- ②コースワーク完了画面

すべての項目に✓が入っていると、コース完了となる



Courseraの「成績」画面

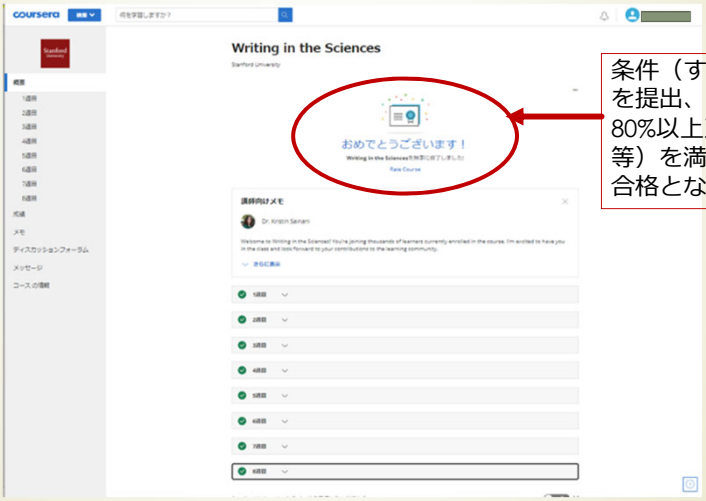


edXの「講座」画面

16

5．コース完了の確認③

- ③コースワーク合格画面



条件（すべての課題を提出、クイズに80%以上正答する等）を満たすと、合格となる。

Courseraの「概要」画面

17

６．成果報告会への参加①

- 成果報告会の実施と参加について

令和７年度の「全員留学」「大学院共通留学認定プログラム」としてMOOCsの受講を選択した学生を対象に、亥鼻地区において、成果報告会を開催する。MOOCsの受講をもって、修了要件の「留学」を満たすためには、以下が必須となる。

- 成果報告会（次頁参照）への参加と発表

学生は、指導教員と相談のうえ、報告会で発表を行った後、報告書*を作成し指導教員の評価、署名を得る。報告書を提出することにより、単位が付与される。

（提出先：学務課大学院係）

*報告書は、部局により書式が異なる。
（医学薬学府：ENGINE演習報告書、看護学研究科：ENGINE実施報告書）

18

６．成果報告会への参加②

- 成果報告会の概要

（１）目的：

MOOCsで学習した成果を英語で報告し、学生間で相互交流を行い、ENGINEのゴール「発信力、自己表現力、コミュニケーション力を備えた世界で活躍する人材」の育成をめざす。

（２）開催時期（予定）：

2025年**12月頃を予定**

（３）開催場所（方法）：

場所は、決定次第通知。**集合形式**での報告会

（４）発表方法：

各自がMOOCsで学習した内容について、**英語でスライド10枚以内**にまとめ、**英語で発表**を行う。１人10分間の発表と5分間の質疑応答時間を設ける。

（５）コメントシートの提出

発表者は、ほかの学生の発表を聞き、コメントをコメントシートに記録し提出する。

（６）申込方法・問合せ先：

開催日程が決まり次第、申込受付を開始する。
詳細は、Moodle、学生ポータル等で通知する。

（問合せ先：亥鼻地区留学支援担当 inohana-studyabroad@chiba-u.jp）